

## 中心市街地活性化のための税収増対策について（改訂継続）

中心市街地活性化には建物改修等のハード面及びイベント等のソフト面の両面からのアプローチが必要となりますが、実施には多大なる資金投入が必要となります。

昨今の物価高などで事業者の経営は厳しい舵取りとなっており、税収の増加が厳しい状況の中、新たな税収増対策としてふるさと納税が注目されています。桐生市においてはすでに実施されておりますが、魅力ある返礼品も少なく伸びは低い状況にあります。これを打破していくためには、ふるさと納税の仕組みの周知及び魅力ある返礼品の増加によりふるさと納税を活性化させていかなければならないと考えます。

以前、(株)さとふるとの説明会にて事業者の登録を推進されておりましたが、ふるさと納税のさらなる推進を図ると共に、毎年の説明会開催を要望いたします。

また、中心市街地活性化のためにふるさと納税を活用した納税ができる仕組みづくりとして、寄附金の使い道に「中心市街地活性化の推進」の追記を要望いたします。

### 桐生市からの回答

ふるさと納税につきましては、本市における急速な人口減少による市税収入等の減収分を補填する自主財源を確保するため、有効活用すべきものと考えております。

現在、本市へのふるさと納税寄附受入額の増加に向けた取組といたしましては、新たな魅力的な返礼品の開拓やふるさと納税ポータルサイトの拡充などを進めているところで

す。そのような中、返礼品につきましては、事業者の制度理解も進み、取扱い数は序々に増えており、それに伴って寄附額も増加している状況です。

つきましては、今後の更なるふるさと納税の促進のため、貴所からのご要望にあります市内事業者を対象とした説明会の開催などに向け、事業者とのネットワークを有する貴所とも更なる連携を図りながら、魅力的な返礼品をご提供いただけるよう努めてまいりますので、ご協力の程お願い申し上げます。

次に、ふるさと納税寄附金の使い道について、新たに「中心市街地活性化の推進」を追加することにつきましては、商工振興課とも連携を図りながら、実現に向けて検討してまいります。

[回答担当] 共創企画部企画課企画戦略担当